

● 基本的事項

(1) 計画の目的

人口減少、少子高齢化の急速な進行や、脱炭素社会構築に向けた要請の高まりなど、社会環境が変化する中、これまで以上に、SDGsの達成に貢献していく必要があることから、総合計画の着実な推進を通して、SDGsの実現に貢献するという考え方にに基づきながら、今後3年間に取り組むSDGsの達成に向けて特に実効性の高い、先導的な取組を具体化するとともに、市内外のステークホルダーとの連携のもと、各種取組を推進していくために策定するもの

(2) 計画の位置付け

内閣府から選定された「SDGs未来都市」として、全国のモデルとなる計画であり、SDGsの達成に貢献するためのリーディングプロジェクトと、「第6次宇都宮市総合計画」の施策・事業を体系的に取りまとめたもの

(3) 計画期間

2025年度～2027年度(3か年)

1 将来ビジョン

【2030年のあるべき姿】

100年先も発展し続けるまちの姿「NCC」を土台に、「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」の3つの社会が、「人」づくりの取組や「デジタル」技術の活用によって発展する「子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』」の実現により、SDGsの達成に貢献する。

【2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット】

I SDGsの達成に向けた実践を促進する情報発信及び意識啓発と市民・団体・事業者・行政等の本市のまちづくりに関わる多様な主体とのパートナーシップの基盤の強化

II 「ひとの“うごき”」の活性化に資する取組の推進

- 「経済」の分野においては、「ひとの“うごき”」を活発にするため、「NCC」が促進する、様々な人の「活躍」や人・モノ・情報の「交流」につながる取組を優先的に推進
- 「社会」の分野においては、「ひとの“うごき”」のしやすさを創出するため、「NCC」の強みを活かした、誰もが生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる「支え合いの地域づくり」につながる取組を優先的に推進
- 「環境」の分野においては、「ひとの“うごき”」を「エコ」にするため、「NCC」や本市独自の「もったいない」のこころのもと、脱炭素型ライフスタイルの推進や再エネの地産地消などによる大幅なCO2の削減につながる取組を優先的に推進



「経済」の分野の KPI

ゴール、ターゲット	KPI
8. 9	指標：年間観光入込客数 現在：2023年 1,270万人 2027年： 1,500万人
9. 2	指標：市内総生産 現在：2021年 2,946,591百万円 2027年： 3,167,709百万円
10. 2	指標：女性就業率 現在：2021年 61.4% 2027年： 67%

「社会」の分野の KPI

ゴール、ターゲット	KPI
9. 1	指標：市内人口に占める居住誘導区域等の人口割合 現在：2023年 49.7% 2027年： 52.6%
10. 2	指標：宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合 現在：2023年 96.5% 2027年： 96.8%
11. 2 11. 3	指標：公共交通夜間人口カバー率 現在：2023年 92.5% 2027年： 93.9%
13. 1 13. 3	指標：災害などの危機に備えている市民の割合 現在：2023年 72.0% 2027年： 100%

「環境」の分野の KPI

ゴール、ターゲット	KPI
7. 2 7. 3	指標：太陽光発電設備導入世帯数(累計) 現在：2023年 21,900世帯 2030年： 62,264世帯
12. 3 12. 5	指標：市民1人1日あたりの資源物以外のごみ排出量 現在：2023年 732g 2027年： 750g
17. 17	指標：もったいない運動の実践率 現在：2023年 40.4% 2027年： 60%

2 自治体SDGsの推進に資する取組

① リーディングプロジェクト

スーパースマートシティの土台となる「NCC」の姿が目に見える形となり、まちと暮らしが大きく変わる中、SDGs実践に向けた「人づくり」や「ひとの“うごき”」を更に加速させ、本市のSDGsの達成に大きく貢献していくため、3つの取組をリーディングプロジェクトとして推進する。

KPI	公共交通の年間利用者数	2023年：2,788万人 ⇒ 2027年：3,400万人
KPI	【新規】市内の温室効果ガス削減率(2013年度比)	2021年：▲8.1% ⇒ 2027年：▲38.6%
KPI	【新規】SDGsを実践する市民の割合	2023年：30.8% ⇒ 2030年：50%

主なゴール	取組
-------	----

 11 住み続けられるまちづくりを	①-1 「MOVE NEXT UTSUNOMIYA ～乗らないなんて『もったいない』～」 ライトラインや路線バス、地域内交通などの端末交通からなる階層性のある公共交通ネットワーク(ハード)と、上限運賃や乗継割引などの施策(ソフト)を一体的に提供し、「NCC」の形成を進めながら、ライトライン開業による公共交通利用の機運の高まりを捉えるとともに、今後のライトライン西側延伸等の環境の変化を見据えて、市民・事業者・団体・行政が一体で進める「もったいない運動」等と連携して、ライフスタイルやライフステージに合わせた「公共交通への利用促進」を図り、自動車に過度に依存しない、公共交通、自転車などを適切に使い分ける状態への自発的な転換を促すことで、脱炭素型ライフスタイル・ワークスタイルの普及や、外出機会の増加による健康増進、まちの交流や賑わい創出による地域経済の活性化などにつなげ、まちづくり全般に寄与していく。 ➢ 【拡充】ライフスタイルやライフステージに合わせたモビリティ・マネジメントの実施 ➢ 【拡充】もったいない運動やSDGs人づくりプラットフォーム等と連携した情報発信 ➢ 【新規】官民連携によるエコ通勤の普及促進やシェアリングモビリティ事業の展開
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	①-2 官民連携による再生可能エネルギー最大限導入と地産地消の推進 ライトライン沿線の「脱炭素先行地域」を中心に、地域ポテンシャルを生かし、市有・民間施設、一般家庭における、PPAなどの様々な手法を活用した再生可能エネルギーの導入や、ゼロカーボンムーブの構築に向けた取組を拡大するとともに、「宇都宮ライトパワー株式会社(地域新電力会社)」による、ごみ処理施設のバイオマス発電や家庭の卒FIT・非FIT太陽光発電等による再生可能エネルギーの調達と供給拡大、高度なエネルギーマネジメントの実施により、再エネの最大限の活用を推進することで、二酸化炭素排出量の削減、地域経済の活性化の更なる推進を図る。 また、「宇都宮ライトパワー株式会社(地域新電力会社)」の小売電気事業による収益を活用して、市内事業者の参画・連携を図りながら、再生可能エネルギーの地産地消・普及拡大を推進するとともに、公共交通等の脱炭素化、市民生活の質の向上に資する事業など地域課題の解決を図る地域還元事業を実施し、経済、社会、環境の統合的向上を図る自律的好循環を形成していく。 ➢ 【新規】本市の脱炭素化をけん引するモデル地区(脱炭素先行地域)の実現と波及(太陽光・蓄電池の導入・端末交通の脱炭素化) ➢ 【拡大】ライトラインへの再生可能エネルギーの供給(ゼロカーボントransポート)や公共交通の脱炭素化等によるゼロカーボンムーブの構築に向けた取組の推進 ➢ 【新規】宇都宮ライトパワー株式会社によるエネルギーマネジメントの実施と再エネ利用の最大化 ➢ 【継続】宇都宮ライトパワー株式会社による事業収益を活用した地域の脱炭素化、市民生活の質の向上に資する事業の実施
 13 気候変動に具体的な対策を	

2 自治体SDG sの推進に資する取組

主なゴール	取組
17 パートナースhipで目標を達成しよう 4 質の高い教育をみんなに	①ー3 SDGs達成に資するパートナーシップ基盤の充実 SDG sに対する宇都宮市全体での理解促進と市民・事業者とのパートナーシップの基盤として2020年に設立した「SDG s人づくりプラットフォーム」について、会員が300団体を超えるとともに、「SDG sを知っている」市民の割合が計画当初の値より大幅に増加する中、各主体のSDG sの「実践する」ステップへの移行を促すため、「SDG s人づくりプラットフォーム」の会員等と連携し、SDG s達成に向けた取組事例等の発信拡大や会員間の交流促進、新たな取組創出を目指すプラットフォーム会員の連携支援、市民・事業者のSDG sの実践を促進する会員の自主的な活動の実施など、「SDG s人づくりプラットフォーム」の取組等によるSDG s実践に向けた機運の高まりを捉えながら、多様な主体が、互いの課題や強み等を持ち寄り、新たなアイデアの獲得や新規事業を創出、実装する「共創」により、本市におけるSDG s推進を加速化するため、産業やデジタル、スポーツ、市民活動など、本市において分野ごとに展開されている様々な活動団体・主体が、SDG sの達成という同じ目標の下でつながり、一体となって活発に交流・対話ができる「場」の創出に取り組んでいく。 ➢ 【拡充】「SDG s人づくりプラットフォーム」における市民・事業者のSDG sの実践促進に向けた好事例の発信及び普及啓発 ➢ 【拡充】「SDG s人づくりプラットフォーム」におけるSDG s達成に資する新規取組創出の場の提供や会員間の交流機会の創出、市民・事業者・行政をつなぐ相談窓口及び活動支援 ➢ 【新規】「共創のまちづくり」の強化・充実によりSDG s達成に貢献するための、あらゆる主体の交流・対話の場（共創センター）の設置 【SDG sの達成に貢献するパートナーシップのイメージ】 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 持続可能な社会の実現につながる地域課題の解決

② 子育て・教育に関する取組

KPI	宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合	2023 年： 96.5% ⇒ 2027 年：100%
KPI	【新規】「将来の夢や目標を持っている。」と回答した中学3年生の割合	2021 年： 75.8% ⇒ 2027 年：84.%
主なゴール		取組
1貧困をなくそう 	②ー1 全ての子どもを安心して健やかに育むことができる環境の整備 ➢【継続】結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ➢【継続】保育サービスの更なる充実や子育て世帯の負担軽減 ➢【継続】親と子どもの居場所の充実、子どもの居場所への支援 ➢【新規】子どもの活動や交流の場の充実 ➢【新規】ヤングケアラーや医療的ケア児などの困りごとを抱える子どもへの支援 ➢【新規】子どもや若者の意見表明機会の確保	
4質の高い教育をみんなに 	②ー2 未来を生き抜く力の育成 ➢【継続】郷土への愛情を育む学習の推進 ➢【新規】英語教育・国際理解教育の充実 ➢【継続】1人1台端末によるGIGAスクール構想の実現 ➢【新規】適応支援教室事業の充実など児童生徒の状況に応じた指導・支援	
10人や国の不平等をなくそう 		
17パートナーシップで目標を達成しよう 		

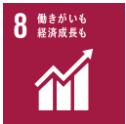
③ 健康・福祉に関する取組

KPI	健康寿命の延伸	2019 年: 男性 80.01 歳, 女性 84.15 歳 ⇒ 2027 年: 平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
KPI	【新規】日常生活の中で「絆」や「つながり」を感じる市民の割合	2022 年: 51.3% ⇒ 2027 年: 70%
主なゴール		取組
1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナースhipで目標を達成しよう		③ー1 いつまでも健康に生活できる環境づくり ➢ <u>【新規】健康ポイントアプリや PHR (パーソナルヘルスレコード) 等のデジタル技術を活用した健康づくりの推進</u> ➢ <u>【新規】公共交通やシェアリングモビリティ, 自転車の利用促進や, スポーツ活動環境の充実など, 多様な行政分野の取組推進による自然に健康になれる環境づくり</u> ➢ <u>【新規】働く世代や女性の健康づくりの促進</u> ③ー2 【新規】共に支え合う地域づくり ➢ <u>【新規】保健と福祉のまろごと相談窓口「エールU」や多様な支援機関による包括的な支援の推進</u> ➢ <u>【継続】交通系 IC カード「totra」を活用した高齢者外出支援事業の充実など高齢者福祉の推進</u> ➢ <u>【新規】障がい者への就労支援, 地域生活支援の充実</u> ➢ <u>【新規】スマートフォンの使い方などを教える地域のボランティア「宮デジサポーター」などによるデジタルに不慣れな高齢者等への支援</u>

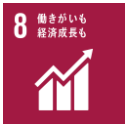
④ 安全・安心に関する取組

KPI	災害などの危機に備えている市民の割合	2023 年:72.0% ⇒ 2027 年:100%
KPI	【新規】「まちづくり活動に参加している」市民の割合	2023 年:23.0% ⇒ 2027 年:35.0%
主なゴール		取組
13 気候変動に具体的な対策を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナースhipで目標を達成しよう		④ー1 災害に強いまちづくりの推進 ➢ <u>【新規】災害に強い情報通信インフラの整備や避難所環境の充実などの災害対応力の強化</u> ➢ <u>【継続】居住誘導による地域コミュニティの維持・活性化を通じた消防団・地域住民等による地域防災力の向上</u> ➢ <u>【継続】都市機能の誘導による災害時に必要な医療や物資の効果的な供給確保</u> ➢ <u>【継続】河川整備や田んぼダムの普及促進, 内水氾濫対策など総合的な治水・雨水対策の推進</u> ④ー2 <u>【新規】地域コミュニティの活性化</u> ➢ <u>【新規】まちづくり活動への参加促進</u> ➢ <u>【新規】魅力ある自治会づくりへの支援</u>

⑤ 魅力創造・交流に関する取組

KPI	年間の観光入込客数	2023 年: 1,270 万人 ⇒ 2027 年:1,500 万人
KPI	【新規】宇都宮市を「好き」と感じる市民の割合	2023 年:91.9% ⇒ 2027 年 93.1%
主なゴール		取組
 8 働きがいも経済成長も	⑤ー1 地域資源の発掘・磨き上げによる賑わいと活力の創出	
	➤ <u>【拡充】宇都宮ジャパンカップサイクルロードレースやFIBA3x3ワールドツアー宇都宮オープナーなどの国際イベントの開催やプロスポーツチームとの連携による賑わいの創出</u>	
	➤ <u>【新規】アーバンスポーツの体験環境整備など、スポーツ資源のフル活用に向けた環境の整備</u>	
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	➤ <u>【新規】観光事業者や関係団体、県内外の自治体と連携したMICE開催と広域観光の推進</u>	
 17 パートナシップで目標を達成しよう	⑤ー2 【新規】官民一体となった戦略的な都市ブランドの推進	
	➤ <u>【新規】東京圏に対する移住定住プロモーションなどの戦略的な本市の魅力発信</u>	
	➤ <u>【新規】市内在住の若年層などによる宇都宮ブランドの創出・発信</u>	
 17 パートナシップで目標を達成しよう	➤ <u>【新規】UJIターン就職の促進</u>	

⑥ 産業・環境に関する取組

KPI	市内総生産	2021 年:2,946,591 百万円 ⇒ 2027 年 3,167,709 百万円
KPI	女性就業率(25～44 歳まで)	2020 年:61.4% ⇒ 2027 年:67%
KPI	太陽光発電設備導入世帯数(累計)	2023 年:21,900 世帯 ⇒2030 年: 62,264 世帯
KPI	【新規】もったいない運動の実践率	2023 年:40.4% ⇒2027 年:60%
主なゴール		取組
 5 ジェンダー平等を實現しよう	⑥ー1 【拡充】女性活躍の推進	
	➤ <u>【新規】女性が働きやすい職場環境整備の推進</u>	
	➤ <u>【新規】女性活躍に向けた企業の意識醸成(固定的性別役割意識の解消)</u>	
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	➤ <u>【新規】女性デジタル人材の育成</u>	
	➤ <u>【新規】女性の健康づくりの促進(再掲)</u>	
	⑥ー2 【新規】地域特性を生かした産業の活性化	
 8 働きがいも経済成長も	➤ <u>【新規】東京圏における交流・活動拠点「東京オフィス」を活用した企業誘致等の推進</u>	
	➤ <u>【新規】産官学金によるイノベーションの創出</u>	
	➤ <u>【新規】新たな産業用地の開発・確保の促進</u>	
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	➤ <u>【新規】スポーツを活用したオープンイノベーションを推進するプラットフォーム(仮称)「みやSOIP」による産業・研究の活性化</u>	
	⑥ー3 再生可能エネルギーの地産地消の推進	
	➤ <u>【継続】「宇都宮ライトパワー株式会社(地域新電力会社)」による再エネの地産地消</u>	
 12 つくる責任つかう責任	➤ <u>【拡充】本市の脱炭素化をけん引するモデル地区(脱炭素先行地域)の実現と波及(太陽光・蓄電池の導入・端末交通の脱炭素化など)</u>	
	➤ <u>【新規】官民連携による再生可能エネルギーの導入拡大</u>	
	➤ <u>【継続】大谷石採取場跡地内の冷熱エネルギー利活用</u>	
 17 パートナシップで目標を達成しよう	⑥ー4 廃棄物資源の有効活用等による循環型社会の形成	
	➤ <u>【継続】剪定枝や小型家電等の拠点回収事業による資源化の推進</u>	
	➤ <u>【継続】クリーンセンター下田原やクリーンパーク茂原におけるバイオマス発電(ごみ発電)等による熱エネルギーの有効活用</u>	
 17 パートナシップで目標を達成しよう	➤ <u>【新規】プラスチック資源循環の促進</u>	
	➤ <u>【新規】フードドライブの普及などによる食品ロス削減</u>	
	⑥ー5 「もったいない運動」の推進	
 17 パートナシップで目標を達成しよう	➤ <u>【継続】市民総ぐるみによるもったいない運動の推進</u>	
	➤ <u>【継続】「公共交通の利用促進」などSDGsの達成に貢献する取組との連携</u>	

⑦ 交通に関する取組

KPI	公共交通夜間人口カバー率	2023 年:92.5% ⇒ 2027 年:93.9%
KPI	市内人口に占める居住誘導区域等の人口割合	2023 年:49.7% ⇒ 2027 年:52.6%
主なゴール		取組
 11 住み続けられるまちづくりを	⑦ー1 拠点性の向上	
	➤ <u>【継続】中心部の都市拠点における高次で多様な都市機能の集積促進と身近な地域拠点等における居住や生活利便施設の集積促進</u>	
	➤ <u>【新規】ライトライン沿線まちづくりの推進</u>	
 17 パートナシップで目標を達成しよう	➤ <u>【新規】都心部まちづくりの推進</u>	
	➤ <u>【新規】JR宇都宮駅西口周辺地区の整備</u>	
	⑦ー2 拠点間を結ぶ総合的な交通ネットワークの構築	
 17 パートナシップで目標を達成しよう	➤ <u>【新規】JR宇都宮駅西側へのライトライン導入</u>	
	➤ <u>【拡充】バス路線の再編、地域内交通やシェアリングモビリティの確保・充実</u>	
	➤ <u>【新規】モビリティハブの推進</u>	
 17 パートナシップで目標を達成しよう	➤ <u>【継続】自転車走行空間整備の推進</u>	
	➤ <u>【継続】交通系 IC カード「totra」による運賃負担軽減策の充実</u>	
	➤ <u>【拡充】公共交通の脱炭素化などによるゼロカーボンムーブの促進</u>	

3 推進体制

【各種計画への反映】

「スーパースマートシティ」の実現を通してSDGsの達成に貢献するという考え方を基本とし、各行政分野の個別計画についても、計画策定・改定時にSDGsの視点を反映する。

【行政体内部の執行体制】

市長をトップとした、全部局長で構成するうつのみやSDGs推進本部を設置し、全庁一丸となってSDGs達成に貢献する。

【ステークホルダーとの連携】

(域内外の主体)SDGs人づくりプラットフォーム、宇都宮市もったいない運動市民会議、宇都宮市内大学、短期大学、専門学校等との連携、Uスマート推進協議会、宇都宮イノベーションコンソーシアム、宇都宮ベンチャーズ、(仮称)みやSOIP(R7.3設立予定)、宇都宮市まちづくりセンター(まちびあ)、国際スポーツ大会(国内の主管団体) など

(国内の自治体)栃木県、栃木県央都市圏首長懇談会(県央サミット)、芳賀町、うるま市
(海外の主体)市民交流・経済交流における関連都市、国際スポーツ大会(海外の主管団体)